

(仮称) 川崎市子ども・子育て支援事業計画素案からの主な変更点について

1 修正のポイント

時点修正をするとともに、より分かりやすくするために、説明の順番、グラフの変更・追加をしています。

2 主な修正部分

(1) 第2章

<全体>

●「1 社会状況」、「2 家庭の状況」、「3 地域の状況」、「4 子ども・若者の状況」の時点修正と、状況分析から見えてくる課題等、事象への認識について、それぞれの項目末尾に四角囲みで提示。

<11ページ>

●内容が少子化に関する国の対策などの説明であることからタイトルを変更するとともに、時点修正をしました。(1 本市の状況 から 1 社会状況 に変更)

<12ページ>

●グラフ 「我が国の総人口の推移」から年少人口、生産年齢人口等の内訳がある「我が国の将来人口推計」に変更し、全国と市との比較ができるようにしました。

<17ページ>

●「仕事と家庭生活の両立」に関して、諸外国との比較のグラフ「6歳未満児のいる男女の育児、家事関連時間について、先進国との比較」を追加しました。

<19ページ>

●タイトルを記載内容の順番に揃え、「ライフスタイルの多様化と暮らしの変化」から「暮らしの変化とライフスタイルの多様化」に修正しました。

●サービス業界に勤務する人の割合を示すグラフを追加し、多様化の状況をより具体化しました。

<22ページ～>

●素案では「2 地域の状況」、「3 家庭の状況」の順に説明していましたが、「地域の状況」を説明する中で、核家族の増加を挙げているので、核家族化などについて説明している「家庭の状況」を先にし、「2 家庭の状況」「3 地域の状況」としました。

●素案では「4 子ども・若者を取り巻く状況」として、支援が必要な子ども・若者の説明が中心ですが、その中に「インターネットやスマートフォンの普及」が入っていたので、原案では「3 地域の状況」の「子どもの育つ環境の変化」の中に、「インターネットやスマートフォンの普及」を入れ、整理しました。また、この整理によって「4 子ども・若者を取り巻く状況」から「4 子ども・若者の状況」にタイトルを修正しました。

<35ページ>

●こどもの貧困について、「相対的貧困率の国際比較」のグラフを追加しました。

(2) 第4章

時点修正と推進項目における推進事業の所管の追加をしました。

(3) 第5章

< 132ページから139ページ>

教育・保育の量の見込みと確保方策を区別に示しました。

< 140ページ>

認定こども園の目標設置数及び設置時期を示しました。

< 141ページから152ページ>

地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保方策を区別・年度別に示しました。